

令和8年8月6日

港湾空港局港営課

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社
会社概要	会 社 の 事 業 概 要	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 所有施設の概要 営業開始：平成 12 年 9 月 1 日 規模：延床面積 14,596 m² 構造：鉄骨造 2 階建
	資 本 金 額	465,000 千円
	本市の出資額	20,000 千円
	本市の出資割合	4.3 %
	従 業 員 数	1 人
営 業 報 告 の 要 点		小倉国際流通センターを運営し、テナント 3 社に倉庫貸付を行った。 引き続き、経費の削減に努め、老朽化した倉庫内設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。 当期の売上高は、77,948 千円（前期比 ±0 千円）となった。
収支状況 の 要 点	当 期 純 利 益	5,148 千円
	前年度との比較	○営業利益は、2,120 千円で、 前期比 1,271 千円の減益（－37.5%）となった。 ○経常利益は、2,604 千円で、 前期比 905 千円の減益（－25.8%）となった。 ○当期純利益は、5,148 千円で、 前期比 626 千円の減益（－10.9%）となった。
	その他 (剰余金・欠損金、設備 投資、資金調達など)	
繰 越 利 益 剰 余 金		70,644 千円
株主総会 令和8年6月24日 開 催	監 査 報 告	監査役 1 名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議 案	(1) 決議事項 第 1 号議案 第 29 期(令和 7 年度)営業報告について 第 2 号議案 第 29 期(令和 7 年度)決算報告について 第 3 号議案 第 30 期(令和 8 年度)事業計画（案）について 第 4 号議案 取締役任期満了による取締役選任について 第 5 号議案 監査役辞任による監査役選任について いずれの議案も異議なく承認可決

(令和8年3月31日現在)

第 29 回

定 時 株 主 総 会

令和 8 年 6 月 24 日
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

目 次

第1号議案	第29期（令和7年度）営業報告について	…1～4
第2号議案	第29期（令和7年度）決算報告について	…5～11
第3号議案	第30期（令和8年度）事業計画（案）について	…12～15
第4号議案	取締役任期満了による取締役選任について	…16
第5号議案	監査役辞任による監査役選任について	…17

第 1 号議案

第 29 期

営 業 報 告 書

自：令和 7 年 4 月 1 日
至：令和 8 年 3 月 31 日

小倉国際流通センター株式会社

1 営業報告

(1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、26年目を迎えた今期515万円の純利益（税引前:736万円）を計上した。内 建物及び設備の老朽化に伴う修理費用の増加を見込み、年間360万円の修繕引当金を計上し、平成27年度からの11年間にて累計1,914万円の修繕引当金の残高となった。

今年度は重量シャッタースラットの更新や消防設備品感知器および消化ホース等不良品の取替、熱中症対策として庫内1階にコンセントを配置、LED灯への移行、また外周フェンスの修理等の設備健全化補修のため（修繕引当金戻入476万円）を実施した。

(2) 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

(3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

2 令和7年度経営課題の総括

(1) 確実な設備点検による優先的修理費の投入と今後の課題

自家用動力設備、大型重量シャッター（高さ 3.200m・幅 10.000m）、エレベーター、垂直搬送機及び消防設備等の主要設備はメーカーによる定期的な点検・診断を実施しているが、経年劣化による設備不良部は各部位で発生している。重量シャッターのスラット不良基は今年度1基を更新したが、他不良基も更新が必要で有り今後1年毎に順次更新を行う。また、消防設備品感知器不良品は15台、誘導灯7台、表示板8基、プレート3台、消火栓ホース16本を取替えた。今後についても年次点検で判明都度計画的に補修を行う。今後も確実な状態監視を行い緊急性の有る物から計画的に補修を継続して行く。

(2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

3 総務の概況

(1) 総会及び取締役会開催

令和 7 年 5 月 23 日

第 87 回 取 締 役 会

- 第 28 回株主総会 決算書類の承認
- 総会付議議案の決定

令和 7 年 6 月 23 日

第 28 回定時株主総会

- 第 28 期決算報告
- 第 29 期事業計画報告
- 取締役任辞任による取締役選任の件
- 監査役任期満了による監査役選任の件

(2) 登記に関する事項

令和 7 年 6 月 24 日

役員に関する事項

(取締役辞任に伴う就任)

取締役	花 田 圭 生	新任
取締役	櫛 山 智	新任
取締役	那 口 洋	退任
取締役	小 田 聡	退任

(監査役任期満了に伴う就任)

監査役	鈴 木 義 人	新任
-----	---------	----

4 会社の概況

(1) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式総数 9,300株
- ③ 当期末株主総数 11名
- ④ 株主の状況

株 主 名	持 株 数 (株)	持株比率 (%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
口鉄物流株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱 UFJ 銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合 計	9,300	100.00

(2) 従業員の状況

	従業員数	備 考
男 子	1名	但し、業務委託先職員
女 子	0名	
合 計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高…なし

決算報告書

第 29 期

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

小倉国際流通センター株式会社

北九州市小倉北区西港町109-2

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 279,428,690】	【流 動 負 債】	【 5,228,392】
現 金 預 金	267,959,839	未 払 金	1,925,592
売 掛 金	11,433,761	未 払 法 人 税 等	2,108,900
貯 蔵 品	35,090	未 払 消 費 税 等	1,193,900
【固 定 資 産】	【 280,588,402】	【固 定 負 債】	【 19,143,910】
[有 形 固 定 資 産]	[280,046,910]	修 繕 引 当 金	19,143,910
建 物	997,372,574		
建 物 附 属 設 備	153,407,000	負 債 合 計	24,372,302
構 築 物	35,782,000	純 資 産 の 部	
機 械 装 置	55,586,000	【株 主 資 本】	【 535,644,790】
工 具 器 具 備 品	2,435,800	[資 本 金]	[465,000,000]
減 価 償 却 累 計 額	△964,536,464	[利 益 剰 余 金]	[70,644,790]
[無 形 固 定 資 産]	[145,070]	(その他利益剰余金)	(70,644,790)
電 話 加 入 権	145,070	繰 越 利 益 剰 余 金	70,644,790
[投 資 そ の 他 の 資 産]	[396,422]		
長 期 前 払 費 用	396,422	純 資 産 合 計	535,644,790
資 産 合 計	560,017,092	負 債 ・ 純 資 産 合 計	560,017,092

損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
売 上 高	77,948,580	77,948,580
売 上 総 利 益		77,948,580
【販売費及び一般管理費】		75,828,409
営 業 利 益		2,120,171
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	484,092	
雑 収 入	250	484,342
経 常 利 益		2,604,513
【特 別 利 益】		
修繕引当金戻入益	4,757,600	4,757,600
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	1	1
税引前当期純利益		7,362,112
法人税、住民税及び事業税		2,213,298
当 期 純 利 益		5,148,814

販売費及び一般管理費

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
福 利 厚 生 費	60,000	
旅 費 交 通 費	34,010	
通 信 費	121,852	
租 税 公 課	8,061,621	
消 耗 品 費	71,586	
事 務 用 品 費	51,333	
リ ー ス 料	93,600	
修 繕 費	7,754,250	
保 険 料	487,296	
支 払 手 数 料	38,400	
減 価 償 却 費	36,333,464	
外 注 労 務 費	3,225,000	
水 道 費	106,229	
電 力 費	3,946,136	
地 代 家 賃	10,171,624	
諸 会 費	6,000	
修繕引当金繰入	3,600,000	
雑 費	1,666,008	75,828,409
合 計		75,828,409

株主資本等変動計算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日 (単位：円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金		資本剰余金 合計	利益準備金	利益剰余金				
							その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
当期末残高	465,000,000						65,495,976			530,495,976	530,495,976
当期変動額											
当期純利益							5,148,814			5,148,814	5,148,814
当期変動額合計			-				5,148,814		-	5,148,814	5,148,814
当期末残高	465,000,000						70,644,790			535,644,790	535,644,790

（単位：円）

至 令和 8年 3月31日

個 別 注 記 表

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

2. 重要な引当金の計上基準

倉庫内物流関連機械装置修理に要する修繕費用の支出に備えるため、その発生見込額のうち当会計年度に負担すべき金額を計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

監 査 報 告 書

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第29期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告に関する議案および付属明細書を監査しました結果、適正かつ正確であると認めます。

令和 8年 5月 15日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 鈴木 義 人



第 3 0 期 事 業 計 画

自：令和 8 年 4 月 1 日
至：令和 9 年 3 月 31 日

小倉国際流通センター株式会社

1 令和8年度の財務及び施設運営方針

(1) 財務上の取り組み

令和7年度における純利益は515万円を計上することができ、今年度への繰越利益剰余金は7,064万円となっている。

令和8年度においては、資金余力を活かし老朽化した設備の改修を中心に引続き設備の健全な維持管理を図っていく。

不確実性が増す中、今後とも計画的に設備安定化とコスト管理を行い、確実な収益確保を図る。

(2) 施設管理・運営上の取り組み

ア 完成から26年を迎え、経年劣化に伴う設備の故障が増加する傾向にある。倉庫作業に直結する主要設備は平成26年度より段的に補修や老朽更新を行い、設備の安定化を継続している。

平成8年度は重量シャッターの不良基、およびドックレベラーの不良基の更新を図る。修繕費引当金を活用し、予防保全に重点を置き長寿命化対策に向けた施設管理に取り組む。また働く方の労働環境改善のため経年劣化が著しい設備の更新を図る。

引き続き、耐用年数を超過したエレベーターの更新に向けた検討を行う。

(主要設備・施設)

・白家用動力設備	1 式
・消防設備	1 式
・エレベーター(構内リフト昇降)	1 基
・垂直搬送機(入出庫製品の横移動と昇降)	3 基
・ドックレベラー(エプロン上下調整)	9 基
・倉庫エプロン重量シャッター(3.2m×10m)	11 枚
・倉庫内重量シャッター	6 枚

イ 稼働率100%を維持していくため、引き続き顧客確保の尽力をお願いしていく。

2 令和 8 年度予定損益計算書

(単位：円)

科 目	令和 7 年度 実 績	令和 8 年度 計 画	増 減
[売上高]	77,948,580	77,948,580	0
[販売費及び一般管理費]	75,828,409	75,902,616	74,207
営業利益	2,120,171	2,045,964	△74,207
[営業外収益]	484,342	520,876	36,534
受取利息	484,092	520,876	36,784
雑収入	250	0	△250
経常利益	2,604,513	2,566,840	△37,673
[特別利益]	4,757,600	5,130,000	372,400
修繕引当金戻入金	4,757,600	5,130,000	372,400
[特別損失]	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
[税引前当期純利益]	7,362,112	7,696,840	334,728
[法人税等]	2,213,298	2,751,870	538,572
当期純利益	5,148,814	4,944,970	△203,844
繰越利益剰余金	70,644,790	75,589,760	4,944,970

3 令和 8 年度予定一般管理費

(単位：円)

科 目	令和 7 年度 実 績	令和 8 年度 計 画	増 減
福利厚生費	60,000	30,000	△30,000
旅費交通費	34,010	40,762	6,752
接待交際費	0	0	0
通信費	121,852	127,878	6,026
租税公課	8,061,621	7,961,021	△100,600
消耗品費	71,586	80,713	9,127
事務用品費	51,333	55,833	4,500
賃借料	93,600	140,400	46,800
修繕費	7,754,250	7,999,000	244,750
保険料	487,296	487,296	0
支払手数料	38,400	39,300	900
減価償却費	36,333,464	36,025,007	△308,457
外注労務費	3,225,000	3,300,000	75,000
水道費	106,229	106,229	0
電力費	3,946,136	4,293,667	347,531
地代家賃	10,171,624	10,171,624	0
諸会費	6,000	6,000	0
修繕引当金繰入	3,600,000	3,600,000	0
雑費	1,666,008	1,437,886	△228,122
計	75,828,409	75,902,616	74,207

第 4 号議案

取締役任期満了による取締役選任について

取締役任期満了による取締役 中本竜彦、永島達哉、谷口真吾は、本総会
終結の時をもって辞任致しますので、新たに取締役、3 名を選出する。

なお、取締役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する 株式の数	当社との 利害関係
取締役（重任）	中本 竜彦	山九株式会社 北九州支店 支店長	0	なし
取締役（新任）	久保井 俊一	鶴丸海運株式会社 取締役・常務執行役員	0	なし
取締役（新任）	篠原 孝吉	株式会社 上組 八幡支店 支店長	0	なし

監査役辞任による監査役選任について

監査役任期満了による監査役 鈴木義人は、本総会終結をもって辞任致しますので、新たに監査役、1 名を選出する。

なお、監査役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する 株式の数	当社との 利害関係
監 査 役 (新任)	弘中 政志	日鉄物流株式会社 九州支店 営業部 部長代理 物流倉庫課長・兼務	0	なし